

# 平成19年度 指導者実技研修会・指揮法講習会 報告



栃木県吹奏楽連盟  
副理事長(研修部部長) 岩原 篤 男

1 日時・日程 平成 19年 10 月 27 日 (土) 10:00 ~ 16:00

2 内 容 テーマ ~ 明日から誰でも振れる指揮 ~  
吹奏楽指導者の合奏指揮における基本的な指揮の方法や応用など  
実際にピアノ伴奏を前に、講師による個別指導を受講します。  
基本から応用へ、明日には生徒の前にレベルアップしたご自身を見せられます。

3 会 場 宇都宮市東コミュニティーセンター ホール

4 主 催 社団法人 日本吹奏楽指導者協会(JBA)

5 主 管 社団法人 日本吹奏楽指導者協会(JBA)関東甲信越支部

6 共 催 栃木県吹奏楽連盟

7 講 師 紙 谷 一 衛

プロフィール 15歳から齋藤秀雄氏に指揮法を学び、19歳の時に東京フィルハーモニー交響楽団を指揮してデビュー。桐朋学園大学・東京音楽大学で教鞭をとり多数の有能な指揮者を輩出する。指揮活動は国内の演奏会にとどまらず、ドイツ・イギリス・フランス・ロシア・アメリカでも絶賛を浴びた。郵政中央吹奏楽団を現在まで40数年にわたり指揮している。現在 日本吹奏楽指導者協会東京部会長を務める。

ピアノ伴奏 清 野 香 子 (東京音楽大学 非常勤)

8 参加者 小学校 6名 中学校 4名 高校 8名 大学生 1名 一般 3名 合計 22名  
( 宇都宮 3名 芳賀真岡 7名 上都賀 3名 下都賀栃木 1名  
下都賀小山 1名 塩谷那須 3名 佐野足利 4名 )

今年度も日本吹奏楽指導者協会(JBA)と共催で指揮法講習会を計画したところ上記のような参加者があったことを報告いたします。当日は、中学校などにおいて「学校行事と重なってしまい希望したいのだけど、残念ながら学校行事優先のため参加者できない」とのことで、今回は中学関係参加者が少なくなりましたようです。

講習会としては、時期的に早かったとの反省が揚げられます。

会場は宇都宮市東コミュニティーセンターのホールを使用しましたが、ステージの上と客席と少し離れており講習会としてはあまり良い環境ではなかったかと思えます。

この日は、朝早くから台風の影響で横殴りの雨でした。天候があまり良くない状態でしたが、会場内は前年度受講された先生や初めての先生方で講演開始前より期待あふれた会話が飛び交っていました。

午前10時より12時まで「基本から表現法へ」、午後1時より4時までは、「応用・実習」を中心に指揮棒の持ち方から指揮棒の振り方そして表情のつけ方など必死に講師・紙谷先生の指導のもと休み時間も惜しむ熱心さで研修されていました。

研修の内容は、午前の部が「基本から表現法」として紙谷先生の持参資料【「役に立つ」条件を満たす指揮法】より **表現目的の理解と演奏の仕方(1) Chopin 「Marche Funebre」** **表現目的の理解と演奏の仕方(2) Mozart 「トルコ行進曲」** **音楽の理解 Schbert 「Der Wanderer」** **ジェスチャーについて(アウフタクトについて) 「O sole mio」** をステージの上で各受講生の参考演奏がありました。ピアノ伴奏については東京より同行された清野香子先生を紹介されました。大学における指揮の授業や各講習会などのピアノ伴奏を努めているそうです。



昨年度の指揮法講習に使用したテキストを反省しながら「跳ね上げ」や「指揮法では、最低限何が出来る必要があるか」「現在私達が身につけるべき指揮法」「指揮法のまったくの基礎」など齋藤秀雄先生の指揮法教程について説明を織り交ぜながら的確な指導でした。そしてステージを降りて参加者一人一人へのアドバイスなど時間があっという間でした。特に休憩時間には各先生方も休む時間を忘れての質問や振り方の練習で汗だくでした。外は朝から激しい雨に見舞われていましたが会場内は、熱の入った実践的な活動が続いていました。



午後には **Tempo が速い曲 Beethoven「ピアノ・ソナタ」** **Tempo がのろい曲 「Der Dichter spricht」** **アクセントと拍子感 「魔王」** **基本の学習 Schbert 「Thema aus dem Impromptu」 Op 142-3** などの例を取り上げながら展開されました。

最後には **Brahms の 「Ungarischer Tanz No 6」** を課題に全員の先生方が前に出てピアノに向かって指揮を披露し指導を受けました。さすがにピアノ伴奏者はそれぞれの先生方の指揮のとおり演奏を変化させ、昨年に続きその演奏や指揮ぶりを聴講するだけでもたいへん勉強になりました。



紙谷先生から、一人一人の癖などの的確なアドバイスがありました。受講生のなかには、「恥をかく・・・」と言ってもらえないくらい積極的な活動や質問をぶつけ合っていました。大変有意義な一日となり、時間もかなり超過してしまい参加された先生方からは是非このような講習を1回だけでなく数回に増やしたり個人レッスンが組める方法など希望がありました。今後、日程等を考慮して事務局としても検討していきたいと思ひます。